

第3回学校運営協議会 議事録

1. 日時：令和6年2月6日（木） 午後2時00分～午後4時00分

2. 場所：実習棟2階 会議室

3. 出席者：

- 学校運営協議会委員（5名）

- 川口 雅夫
- 北村 翼
- 小川 寿之
- 中田 愛
- 松本 道代

- 教職員（7名）

- 井上 直人 准校長
- 佐々木 博章 教頭（事務局長）
- 播田 晃久 首席
- 中村 有佑 教務主任
- 平山 篤 生活指導主任
- 岩永 満 進路指導主任
- 小池 隆一 保健指導主任
- 玉城 陸 書記

4. 欠席者：

- 学校運営協議会委員（1名）

- 田中 孝二（副会長）

5. 議題：

1. 開会の挨拶
2. 事務連絡
3. 校長挨拶（井上准校長）
4. 会長挨拶（川口会長）
5. 報告事項

1. 令和6年度 学校評価報告・令和7年度 学校運営計画（案）について（井上准校長）

2. 令和6年度 第2回授業アンケート・学校教育自己診断結果報告（佐々木教頭）
3. 令和5年度 資格取得状況報告（中村教務主任）
4. 令和6年度 生活指導部 進捗状況報告（平山生活指導主任）
5. 令和6年度 進路指導部 進捗状況報告（岩永進路指導主任）
6. 令和6年度 保健指導部 進捗状況報告（小池保健指導主任）
6. その他
7. 質疑応答・意見交換
8. 閉会の挨拶

6. 会議録：

○ 事務連絡（佐々木教頭）

- 委員過半数出席により、会議成立を宣言。
- 副会長の田中委員より欠席の連絡があった旨を報告。
- 保護者からの意見は、現在までに意見は寄せられていない旨を報告。
- 本日の協議事項は学校評価に関する事項である旨を説明。
- 学校運営に関する基本的な方針である学校経営計画の「めざす学校像」及び「中期的な目標」について、協議会の承認を得る必要がある旨を説明。

○ 准校長挨拶（井上准校長）

- 教育DX化の推進状況について説明。
 - 生徒へのChromebook配布、教員用ノートPC整備、電子黒板機能付きプロジェクターを全教室に配布。
 - 教員用ノートPCの無線化、成績処理アプリケーション「賢者」導入。
 - 無線化されたPCは授業での活用も視野。個人情報・セキュリティ管理の徹底が重要。
 - 令和7年度入試から、オンライン出願、デジタル採点を導入。定期考査でデジタル採点を試行。
- 今年度を振り返って
 - 年度当初に急な退職があり、教員不足が深刻。講師 recruitment が困難。
 - 教員不足の中、教職員が力を発揮し、運営。
 - 教頭が中心となり、個別学習教材「すらら」を導入、若手教員への指導。
 - 生徒指導提要が10年ぶりに改訂されたことを受け、生徒指導体制を再構築中。
 - 令和の日本型教育、個別最適な学び、協同的な学びを推進し、誰一人取り残さない教育を行う。
- 本日は、今年度の教育活動と来年度の学校運営計画について意見交換を行い、来年度の教育活動の発展につなげたい。

○ 会長挨拶（川口会長）

- DX化の流れは理解できるが、企業ではリモートワークが進んでいない。
- セキュリティの問題があり、社内での業務が中心。情報を取り扱う業務は特にリモートワークが難しいため。
- 中小企業は大企業と雇用形態が異なり、人手不足が深刻。
- 大企業は初任給を上げているが、中小企業は給与面で劣るため、人材確保が難しい。
- 雇用の形が大きく変化しており、終身雇用が崩壊、スキルアップ・スキルチェンジが求められる時代。
- 若いうちから将来を考え、20年ごとにスキルチェンジが必要。
- 学校でもスキルアップの重要性を指導してほしい。

○ 報告事項

1. 令和6年度 学校評価報告・令和7年度 学校運営計画（案）について（井上准校長）

- 令和6年度 学校評価報告（井上准校長）
 - 学校評価について、資料に基づき説明。
 - 中期目標の「社会の中で主体的に生きる力を育てる」について、学力の定着と学びの進化における授業に関する満足度を説明。
 - 学校教育自己診断（生徒、保護者、教員対象アンケート）の結果を説明。
 - 学習指導、進路指導、生徒指導、特別活動指導、教育相談支援教育、学校安全教育、専門教育、人間教育の8項目について、昨年度からの変化、生徒・保護者・教員の回答状況を説明。
 - 学習指導では、授業の分かりやすさ、楽しいという項目で数値が下がっていることを課題として言及。
 - 生徒指導では、学習規律・生活規律に関する項目で数値が大幅に向上していることを説明。
 - 特別活動指導では、部活動に関する項目で数値が下がっているように見えるが、誤りである旨を訂正。（実際はプラス）
 - 教育相談支援教育、専門教育で数値が大幅に向上していることを説明。
 -
 - 令和6年度 of 取組内容と自己評価について説明。
 - 中期目標に基づき、具体的な計画と評価指標を設定し、評価を実施。
 - 「社会の中で主体的に生きる力」を育てるため、「学力の定着」「学びの進化」「資格取得」「正規雇用就労」の4つの観点から説明。

- 個別最適な学びの実践例、生徒一人一台端末の効果的な活用、授業アンケートの結果、授業改善の取組、資格取得状況、進路状況について説明。
 - 「周囲から尊敬される社会人を育てる」ため、「規律意識の確立」「協調性・社会性の育成」「人権教育」の3つの観点から説明。
 - 学習規律・生活規律の向上、教育相談支援教育の充実、部活動・生徒会活動・学校行事の取組、生徒の表彰、人権ホームルームの実施状況について説明。
 - 「誇りを持てる学校づくり」のため、「地域連携」「広報活動」「教育環境の提供」「安心安全な学校づくり」「働き方改革」の5つの観点から説明。
 - 三島小学校への出前授業、地域連携活動、広報活動の状況、ホームページの状況、連携中学校との連携、工業科目の特色、授業改善の取組、安全点検の実施状況、個人情報管理、働き方改革の状況について説明。
 - 働き方改革については、職員会議のICT化、会議のDX化、ストレスチェックの結果、ハラスメントに関する項目で数値が低いことを課題として言及。
- 令和7年度 学校運営計画（案）について説明。（井上准校長）
- 令和7年度の目指す学校像、中期的な目標について、変更点を説明。
 - 中期目標の1項目め「社会の中で主体的に生きる力を育てる」の「ア：確かな学力の定着と学びの進化」について、文言を修正。
 - 新たにICT活用等による個別最適な学びと協同的な学びをベースとした授業を推進し、誰一人取り残さず、主体的・対話的で深い学びの土台を育成する。
 - * 変更理由として、令和の日本型教育における個別最適な学びと協同的な学びの重要性を強調し、主体的・対話的で深い学びへの繋がりを明確化するためと説明。
 - * 中期目標、評価指標、令和7年度の具体的な取組について、資料に基づき説明。
 - * 授業評価、資格取得、進路、生徒指導、特別活動、人権教育、地域連携、広報活動、教育環境、授業改善、安全安心、働き方改革等の項目について、令和7年度の計画と評価指標の変更点、具体的な取組を説明。
 - * 特に授業評価指標について、公開授業の回数を減らし、質を高める方針へ変更したことを説明。
 - * 働き方改革については、目標値を上方修正したことを説明。
 - * 令和7年度 学校運営計画（案）について、承認を求めた。
- 令和7年度 学校経営計画のめざす学校像及び中期的な目標について、**全会一致で承認**された。

2. 令和6年度 第2回授業アンケート及び学校教育自己診断結果報告（佐々木教頭）

- 資料に基づき、令和6年度第2回授業評価アンケート結果について報告。
- 授業アンケートの実施概要、回答状況、設問項目、集計結果について説明。
- 前期のアンケート結果と比較して、後期は全ての項目において肯定的な評価が上昇したことを報告。
- 回答方法の工夫（集会後ではなく、授業時間内に複数教員で実施）が、回答の質に影響を与えた可能性について言及。
- 生徒は授業に意欲的に取り組んでおり、授業を通して成長を実感している傾向がみられる。
- 教員の授業改善の意欲は依然として課題であり、更なる改善が必要であることが読み取れる。
- 学校教育自己診断アンケートの結果概要について説明。
- 学校教育自己診断アンケートは、学校教育活動が、府民の実態や保護者・地域のニーズに対応しているかどうかを検証するために実施している旨、趣旨を説明。
- 生徒、保護者、教員を対象とした学校教育自己診断アンケートの結果を、項目別に分析し、肯定的な評価、課題、改善策について説明。
 - 学校生活の満足度・魅力、情報発信、学校運営、学習指導・授業、生徒理解・支援・生活指導、生徒会活動、進路指導・キャリア教育、施設設備・安全防災、現代的な教育課題・人権問題、学校と家庭・地域連携の項目について、肯定的な点と課題を説明。
 - 教員と生徒・保護者で評価に差がある項目がある部分を指摘し、その理由を説明。
 - 教員の日常的な話し合いや会議運営、授業改善、研修の充実、生徒理解・支援、人権教育、地域連携、働き方改革等について、課題と改善の方向性を示す。

3. 令和5年度 資格取得状況報告（中村教務主任）

- 資料に基づき、令和5年度の資格取得状況について報告。
- 卒業生数5名、資格取得者数9名、自動車整備士資格取得予定者7名である旨を報告。
 - アーク溶接：1名
 - 基礎製図検定：2名
 - 計算技術検定：1名
- 自動車整備士資格については、後日試験があり、合格すれば延べ16名となり、前年度よりも資格取得者数は増加する見込みであると説明。
- 基礎製図検定において、2年生が合格したのは珍しい事例であると説明。
- 来年度は、機械系列の生徒にも基礎製図検定の資格取得を推奨したいと説明。

- 委員から資格取得率についての質問があり、次回から資格取得率も報告することを検討すると回答。

4. 令和6年度 生活指導部 進捗状況報告（平山生徒指導主任）

- 資料に基づき、令和6年度生活指導部の進捗状況について報告。
- 本年度の取り組みとして、
 - 第2回球技大会（フットサル大会）を実施。生徒の参加状況、教員チームとの対戦結果について報告。生徒はよく頑張ったと評価。
 - 長期休業明けに生活指導週間を実施。全教員で授業見回り指導を実施し、生徒の状況把握に努めたと説明。
- 今年度の成果として、
 - 生徒が自分の気持ちや状態を素直に言えるようになった。
 - 担任と生活指導部の連携を密に行えた。
 - 生徒会が主体的に活動するようになった。（役員選挙、インターンシップ、行事運営など）
 - 行事を通じて学年を超えた生徒間の交流が見られるようになった。
- 今年度の課題として、
 - 生徒の意見を聞きすぎるあまり、生徒への指導が緩くなる傾向が見られた。
 - 生徒指導の納得度は高いが、遅刻や欠席をする生徒がいるなど、ルール遵守意識の低下が見られる。
 - 生徒指導提要にある未然防止の観点を取り入れた指導の必要性。
- 今後の取り組みとして、
 - 生徒の自己指導力を高める指導を強化する。
 - 全教員で一貫した指導ができるよう支援する。
 - 部活動を盛り上げ、生徒の成長の場とする。
 - 生徒の行為と指導内容について説明。
 - 同じ行為を繰り返す生徒への継続的な指導と支援が重要であると強調。

5. 令和6年度 進路指導部 進捗状況報告（岩永進路指導主事）

- 資料に基づき、令和6年度進路指導部の進捗状況について報告。
- 本年度の取り組みとして、
 - 応募前職場見学を推進。
 - 進路ガイダンス、面接指導などを実施。
- 今年度の進路状況として、
 - 就職希望者10名全員内定。

- 職場見学実施率は130%。
- 進路決定率は100%。
- 進学希望者2名も全員合格。
- 多様な進路先を実現。（整備士、電気工事士、専門学校など）
- 就職希望者のうち1名が応募前職場見学に行かなかった事例について、詳細を説明。
- 卒業後の進路先一覧、次年度の進路希望調査の結果を説明。

6. 令和6年度 保健指導部 進捗状況報告（小池保健主事）

- 資料に基づき、令和6年度保健指導部の進捗状況について報告。
- 本年度の取り組みとして、
 - 保健調査、定期健康診断、臨時健康診断、避難訓練、防災講演会、安全点検、健康相談の実施状況を説明。
- 保健室の来室状況、感染症による出席停止状況、学校管理下の災害の発生状況、学校環境衛生の点検結果について説明。
- 保健室の来室状況について、1年生の来室が多い傾向にあることを説明。

○ 質疑応答・意見交換

- **委員**：資格取得状況について、生徒数や生徒の希望によって取得者数変動するが、資格取得率を出した方が良いのではないかと。
 ○ **教務主任**：来年度から資格取得率も報告することを検討する。
- **委員**：保健室の来室状況について、1年生の来室が多いのは環境の変化などが考えられる。3年生は少ないが、無理をしている可能性も考慮する必要があるのではないかと。
- **委員**：生徒指導「先生の指導は納得できる」、教育相談・支援教育「困っていることがあれば真剣に対応してくれる」が肯定率90%超なのは、先生方の丁寧な指導により、生徒との信頼関係が築けていると頷かれますが、「授業がわかりやすく楽しい」の肯定率が下がっているのは、最近、発達障害等の疑いの生徒が多いとのことで、その対応が難しいのかも知れません。専門的なスクールカウンセラー等と連携して、一人一人対応していくしかないと思います。
 ○ **准校長**：スクールカウンセラー年12回程度来校。対象生徒の欠席が多く、生徒に直接対応は少ない。しかし、教員とSCが連携を密に対応したい。

- **委員**：授業評価アンケートで、授業評価が低い項目があるのは課題。生徒は学びに来ているという意識を持たせる必要がある。
 - **准校長**：教員の対応も含め、授業改善に取り組む。

- **委員**：部活動の評価が低いのは残念。全国大会で賞を取っているのに、評価が低いのは参加していない生徒が評価しているためではないか。また、以前のR3より上がっていて上昇傾向なのだから、気にしなくても良いと考える。
 - **准校長**：部活動の参加率を上げる努力をする。

- **委員**：教員の人材不足について、非常勤講師や外部人材の活用も検討してはどうか。
 - **准校長**：予算や人員配置の課題もあるが、検討したい。

- **委員**：修学旅行中にホームページ以外で、保護者限定で顔写真ありの写真公開があり、良かったが、そのサイトを見ようとすると、まず広告表示などが多かった。改善の余地がある。
 - **教頭**：改善を検討する。
 - **委員**：教員が行うには、限界がある。私学では、業者委託をしている。

- **委員**：ホームページのアクセス数を増やすため、生徒がSNSで情報発信するなど、生徒参加型のホームページ運営も検討してはどうか。
 - **准校長**：生徒の意見を聞きながら検討したい。

○ 閉会の挨拶（井上准校長）

- 学校経営計画については、本日いただいた意見を踏まえ、委員会と協議の上、決定し、ホームページに掲載する。
- 令和7年度は、人的資源の確保、授業改善、働き方改革などの課題解決に向けて取り組む。
- 委員の皆様には、今後ともご協力をお願いしたい。
- 次年度も委員を継続していただければありがたい。

7. 事務連絡（佐々木教頭）

- 卒業式及び入学式の日程案内。
- 次回の学校運営協議会は、教育委員会と調整の上、改めて案内する。

以上

令和6年2月6日

大阪府立茨木工科高等学校 定時制の課程

准校長 井上 直人